

スマート農業機器等を活用した飼養管理技術の向上 ～4Hクラブ活動を通じた飼養管理技術の向上支援～

(宗谷農業改良普及センター)

背景

【枝幸町の概要】

- 規模拡大が進み1戸当たりの経産牛飼養頭数は68.8頭であり、労働力を補うことと、よりきめ細かな飼養管理を行うことを目的としてスマート農業機器が導入されている



機械化された給餌の様子

【地域の課題】

- 4Hクラブ員を対象に、スマート農業機器に蓄積されたデータの有効活用による飼養管理技術向上に係る支援を行うこととした

普及活動内容

- スマート農業機器を導入したA、B、C農場と未導入のD農場に対し個別巡回を中心とした飼養管理改善に向けた支援を実施した

【データの活用】

- スマート農業機器に蓄積された日々の個体乳量データや脂肪酸組成データを乳牛の健康状態の確認に活用した

乳牛グループ名称	表題	日齢(日)	乳量(kg)	粗飼料	乳配	ビートパルプ	ピントロー
必乳初期	分娩	7	0	4000	400	0.50	0.75
	30日目	30	30	4000	850	2.50	2.50
	ピーク日	55	60	4000	1900	2.50	2.75
必乳中期	60kg	51	60	4000	1150	3.00	2.25
	55kg	52	55	4000	1150	3.00	2.25
	50kg	53	50	4000	1150	3.00	2.00
	45kg	55	45	4000	1100	2.75	2.00
	40kg	60	40	4000	1050	2.50	1.75
	35kg	65	35	4000	950	2.50	1.50
	30kg	70	30	4000	900	2.25	1.50
	25kg	75	25	4000	700	2.00	1.00
	20kg	80	20	4000	550	1.75	1.00
	10kg	120	10	4000	425	1.50	0.50
1kg	130	1	3000	150	0.00		

細分化した給与表

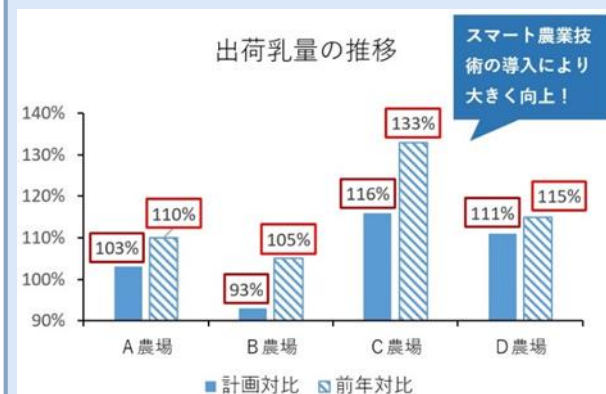
【飼料給与方法の改善】

- 分娩後の濃厚飼料の増給スピードを緩やかにした
- 泌乳量に応じて、飼料の給与量を細分化し、個体に応じた給与を実施した

普及の成果

【具体的な成果】

- 各農場で、前年よりも出荷乳量が向上した
- スマート農業機器に蓄積されたデータを活用するなど飼養管理改善に向けた意識の向上が図られた



取り組み前後の出荷乳量の推移

【成果のポイント】

- 飼養管理改善に対し意欲的な4Hクラブ員を対象としたことで具体的な成果につながった
- 他地域の導入事例を参考にするなど、意識の向上が図られた